

生命理学研究科セミナー

日時：11月 7日（木）13：00から

場所：研究棟 739 室

演者：梅園 良彦 先生

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部

プラナリアを用いた再生原理の解明

個体の発生は1つの受精卵から始まり、ゲノムにコードされた発生プログラムによって完了する。発生生物学は、ショウジョウバエを代表とするモデル動物を用いた势力的な遺伝学的解析により、飛躍的な進展を遂げた。一方で、失われた組織・器官を再生できる動物種を用いた再生生物学は未だ途上にあり、その進展は生物学の深化に貢献するのみならず、再生医療に新たな可能性をもたらすことが期待されている。

我々は、扁形動物門に属するプラナリアを研究対象とし、その再生メカニズムの解明に挑んでいる。プラナリアは、その再生能力の高さから小学校の理科の教科書にも登場する。プラナリアの再生能力は体全体に存在している全能性幹細胞によって支えられているが、我々はこれまでにプラナリアの幹細胞がどのようにして、その分化・未分化状態を成体内で正しく制御しているのかについて解析を進めてきた。本セミナーでは、特に再生能力の高いプラナリア種であるナミウズムシにおける再生原理と、また、その原理に基づいて再生できない別種のプラナリア（コガタウズムシ）を再生させることに成功した研究成果について紹介する。

世話人：吉田秀郎（生体物質化学Ⅱ分野）内線551